

同志社高等学校

2026 School Guide





未来を拓く、志を胸に――

Discover Your Purpose

比叡山の威風を望む岩倉の地 ――

開放感あふれるキャンパスと、荘厳な礼拝の音色。

何にもしばられない大きな視点と幅広い知識

夢や興味、進路に向けて学びを深める自主性と探究心

多様な価値観を尊重する豊かな人間性と協調性

創造性の源泉となる自由な発想力と自立心

人を磨く、同志社の学び。

あなたの個性を輝かせる学び舎で、一緒に3年間を過ごしましょう。



PAGE 03-04

同志社建学の精神
と教育理念

PAGE 05-10

総合力を育む
カリキュラム

PAGE 11-12

学校行事

PAGE 13-14

部活動

PAGE 15-16

キャンパスマップ

PAGE 17-20

卒業生の進路

CONTENTS

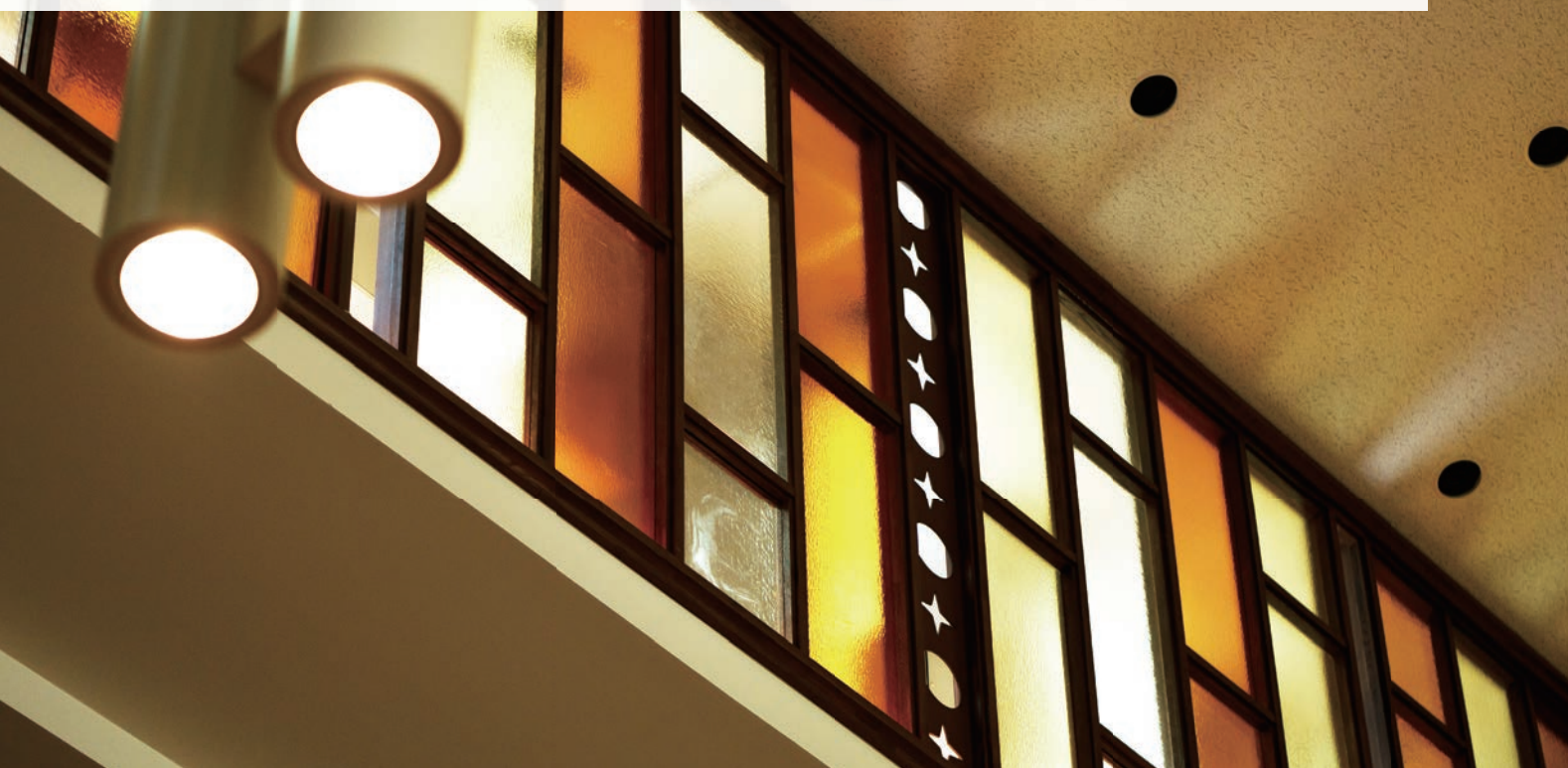


岩倉の地に息づく、「良心教育」の伝統

幕末の動乱の中、日本の将来を憂いて突き動かされるように単身渡米した青年。それが、後に同志社を創立する新島襄です。在米中に新島は、近代化を急ぐ日本にはキリスト教の精神に基づく心の教育こそが必要だと考え、日本にキリスト教主義の学校を設立したいという志を抱きました。

ある日、神学校を卒業したばかりの新島が、アメリカ・ラットランドのグレイス教会の集会で登壇。「日本にキリスト教を基礎とする学校を建てたいのです！」と訴えました。その熱意に打たれた人々が次々と募金に応じ、その場で5,000ドルもの献金が集まりました。その中には、帰りの汽車賃をそつと差し出したという老農夫の2ドルも含まれていました。

新島はそんな異国の人々の想いを胸に帰国。1875年、京都の地に同志社英学校を設立しました。生徒をかけがえのない「同志」として、一人ひとりの個性と人格が十分に尊重されることが大切だと考えていた新島。同志社高校は、その信念であつた「良心教育」を建学の精神とし、キリスト教主義・自由主義・国際主義を土台に据えた人間教育を推し進めています。



キリスト教主義

精神と行動を自ら正し、 社会に貢献する人物が育つ

周りに流されるのではなく、自分なりの正しい考え方をしっかりと持ち、変革を自ら実行する「一国の良心」となる人物を育成するにはどうすればよいか。校祖・新島襄は、神を信じ、真理を愛し、他者に対する思いやりの情に厚いキリスト教に基づく徳育こそが必要であると考えました。その信念に従い、同志社高校ではキリスト教主義教育を基本的な方針として実践しています。朝はチャペルで礼拝を行い、「キリスト教学」の科目では愛と真理と正義を学ぶなど、「良心を手腕に運用する」人間が育つ教育が受け継がれています。

自由主義

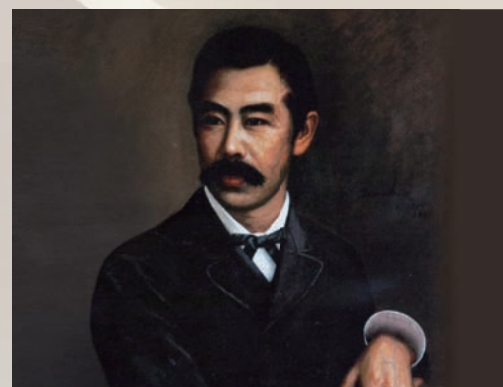
一人ひとりの可能性を引き出し、 主体的な姿勢を育む

同志社には、「個儻不羈(てきとうふぎ)」という言葉が受け継がれています。才気がすぐれ、独立心が旺盛で、常軌では律しがたいことを意味する言葉で、新島襄が好んで用いました。同志社では、こうした高い能力を持つ生徒の可能性を最大限伸ばすため、一方的に指導するというスタンスではなく、個性を大切にし、一人ひとりが自発的に行動して自分の力を発揮できるよう努めています。これが同志社の考える「自由主義」であり、その考え方はバラエティに富んだ選択科目や多様な進路を保障するカリキュラム、生徒がつくる岩倉祭などにも表れています。

国際主義

異なる考え方を受け入れ、 価値の創造に活かす

アメリカでの勉強や視察を通して、教育の重要性に目覚めたことが契機となり、新島襄は同志社の設立を決意しました。そのような歴史を持つ同志社高校は世界に目を向けて学ぶ姿勢を重視し、オーストラリア・ウェズリーカレッジとの交流やアメリカ・ヌエバアップスクールでの国際交流プログラム、それに加えてプレゼンテーション大会やスピーチコンテストなど、英語力を集中的に伸ばす取り組みも実施しています。



校祖 新島襄 (1843–1890)

一つの私立学校の創立者であつたばかりでなく、明治という日本近代化の流れの中で指導的な役割を果たした思想家でもありました。同志社の創学において、その願いは「一国の良心ともいふべき人々を育成する」こと。その志は現代に受け継がれ、キリスト教を徳育の基本として、知育、体育にもすぐれ、個性豊かな良心によって社会に貢献する人々を世に送り出しています。

総合力を育むカリキュラム

将来を見据えた人間育成の土壌となる学びのプロセス

自分にしかつくることのできない未来を切り拓く

本校は、文系・理系、あるいは特進のようなコース分けを行いません。多様な科目を幅広く学ぶ中で、ひとりひとりの興味や関心を伸ばし、将来の進路を各自が切り拓いていきます。同志社大学・同志社女子大学への推薦を希望する生徒や、他大学への受験を希望する生徒が同じクラスで学び、互いに尊重しあい、刺激を受けながら成長していきます。

まずは中学で学んだ内容を基礎に、幅広い必修科目を学び、社会への豊かな視点を培います。そのうえで、2年次に6単位、3年次に14単位の選択科目が設置されていますので、各自が自らの意思でカリキュラムを組み立てていきます。これらの科目は少人数クラスで、より確かな学力を身につけることを目指しています。選択科目には本校ならではのものも多く、年間を通したグループ学習での豊かな分析力や判断力、あるいはディスカッション、ディベートなどを通してのコミュニケーション能力など、大学や社会で今まさに求められている学力を、高校時代から養うことができます。

校時表

礼拝	8:25 ～ 8:40 (8:20 入堂完了)
1 時限	8:50 ～ 9:40
2 時限	9:50 ～ 10:40
3 時限	10:50 ～ 11:40
4 時限	11:50 ～ 12:40
昼休み	12:40 ～ 13:20
5 時限	13:20 ～ 14:10
6 時限	14:20 ～ 15:10
下校時間	18:00

1 年次 幅広く学ぶ

自分の可能性を広げるため、
文系・理系に捉われず幅広く学ぶ。

全科目必修のカリキュラムです。得意・不得意、好き・嫌いの区別なく、幅広く学びます。しっかりとした基礎学力とともに、「一国の良心となる人物」に求められる素養を身につけます。さらに、幅広い領域を学びながら、どの方面で自らの可能性を伸ばせるかを探ります。



カリキュラム

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
H R	キリスト教学	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ	数学A							
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
化学基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	情報Ⅰ							

2 年次 より深く学ぶ

自分のやりたいことが見えてきてから、
興味・関心に応じて選択科目を学ぶ。

2年次では、週30時間のうち、6時間は「自由選択科目」の枠となります。「自由選択科目」とは、自分の興味や関心、進路を切り拓く上で必要に応じて選ぶことのできる科目です。文系・理系または文理融合の自由な組み合わせで選択し、学びます。



カリキュラム

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
H R	キリスト教学	論理国語	古典探究	公共	数学Ⅱ	生物基礎	物理基礎							
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭基礎	・国語表現法(2)	・現代のライフ	・古典講読(2)	・サイエンス(2)	・日本近現代史(2)	・論理・表現Ⅱ(2)	・日本史探究(4)	・英語資格講座(2)	・数学B(2)	・音楽Ⅱ(2)	・美術Ⅱ(2)

()内は週の時間数

自由選択科目

P7～9参照

時間割例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	1・2年合同礼拝			学年礼拝	
1時限	英語コミュニケーションⅡ	論理国語	体育	物理基礎	化学
2時限	体育	生物基礎	英語コミュニケーションⅡ	キリスト教学	数学B
3時限	古典探究	家庭基礎	化学	数学Ⅱ	公共
4時限	数学Ⅱ	物理基礎	化学	論理国語	HR
5時限	数学B	英語コミュニケーションⅡ	公共	生物基礎	家庭基礎
6時限	化学	数学Ⅱ	数学Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ	保健

は選択科目

3 年次 総合的に学ぶ

高校卒業後やその先に向けて、
総合的な力を育む。

週の半分に相当する14時間が選択枠となります。「自由選択科目」に加えて「総合的な探究の時間」が増え、自分の興味や進路に合わせて科目を履修することができます。プレゼンテーションやディスカッションなど様々な形式で授業が展開されます。大学進学後の学びに生きる総合的な力を育みます。



カリキュラム

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
H R	キリスト教学	論理国語		古典探究		倫理		地学基礎		体育			ケー ション Ⅲ	英語 コミュニ ニ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
数学B		論理・表現Ⅱ	現代文研究	・キリスト教学特論(2)												・生物(4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			総合国語	・古典特論(2)												・地学(4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			現代社会研究	・日本近現代史(2)												・現代のライフサイエンス(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			数学研究	・日本史探究(4)												・体育A(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			総合数学	・世界史探究(4)												・体育B(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
数学C		論理・表現Ⅲ	理科研究	・地理探究(4)												・音楽Ⅲ(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			英語研究	・現代思想特論(2)												・美術Ⅲ(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			音楽文化研究	・政治・経済(2)												・英語会話(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			情報研究	・音楽Ⅲ(4)												・家庭特論(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				・物理(4)												・情報Ⅱ(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

()内は週の時間数

総合的な探究の時間

P7～9参照

自由選択科目

時間割例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	学年礼拝				学年礼拝
1時限	総合国語	論理国語	論理・表現Ⅲ	地学基礎	英語コミュニケーションⅢ
2時限	論理・表現Ⅲ	キリスト教学	体育A	英語コミュニケーションⅢ	体育
3時限	世界史探究	倫理	英語コミュニケーションⅢ	論理国語	数学C
4時限	古典探究	数学C	体育	総合国語	HR
5時限	地学基礎	英語会話	倫理	世界史探究	世界史探究
6時限	英語コミュニケーションⅢ	世界史探究	古典探究	英語会話	体育A

は選択科目

興味に応じて選択し、探究できる多彩な学び

同志社高校では、自ら学んでいく力を養うため、自分の興味・関心や希望する進路に合わせて選択できる多彩な独自科目を用意しています。

／ 進路を切り拓く学び ／

長谷川 采伽さんの場合

慶應義塾大学
理工学部 進学
(2024年度卒業生)

- 2年 数学B、化学
- 3年 数学C、論理・表現Ⅱ、英語研究、数学Ⅲ、物理



自分の学びたいことを選択できる

私は、入学当初から大学は理系学部に進みたいと考えていたので、2年次は理数科目を選択しました。そして学びを深める中で、特に化学への興味が高まり、大学でより深く学びたいと思うようになりました。その進路を目指して、3年次でも理数科目を中心に選択しようと考えていましたが、同時に将来に活かせる英語力を高めたいとも考えました。そこで、英語のスピーキングやライティングの力を伸ばすため、英語研究を選択しました。この授業では、プレゼンテーションやレポートを書く機会がたくさんあり、英語力向上に繋がる様々な経験を積むことができました。

文理の進路にとらわれることなく、自分の学びたい科目を自由に選択することができるのは、同志社高校の魅力だと思います。

梅棹 美希さんの場合

同志社大学
文学部 国文学科 進学
(2024年度卒業生)

- 2年 日本史探究、英語資格講座
- 3年 論理・表現Ⅱ、数学B、音楽文化研究、世界史探究、地学



生徒に寄り添う多彩な学び

私は、2年次の選択科目では、以前から興味のあった伝統文化への理解を深めたいと考え、日本史探究を選択しました。探究授業では自分の興味のある事柄を深く掘り下げる時間が多く与えられます。私は特に遺跡や文化の分析から当時の価値観に迫る過程に面白さを感じました。そこで3年次には世界史探究を選択し、より多くの探究活動を通して自分の興味を深め進学先を決めることができました。これら以外にも、苦手としていた英語を克服するための「英語資格講座」や、身近なことだからこそ学ぶ必要性を感じた「地学」など、将来の進路に直結しない科目も選択しました。

同志社高校は、豊富な選択科目や自主性を重んじる授業、魅力的な先生方など、生徒の学びたい気持ちに寄り添ってくれる学校です。3年間の学びによって、自分に足りなかったものを補い、なりたい自分に近づくことができました。

／ 文理融合の学び ／

古府 護大さんの場合

同志社大学
法学部 法律学科 進学
(2024年度卒業生)

- 2年 数学B、化学
- 3年 論理・表現Ⅱ、数学C、現代社会研究、現代思想特論、政治・経済、現代のライフサイエンス、体育B



最後まで進路を迷える3年間

同志社高校では、最終的な進路希望を3年次の秋頃まで考えることができ、それは他校にない強みと言えます。

私自身、1年次末には理系進学を念頭に2年次の科目を選択しましたが、「公共」の授業を受ける中で、社会科系の分野に強い関心を持ちました。そこで、3年次では、社会科系の科目を多く選択し、文系学部への進学を決めました。文系への進路変更は選択科目の希望を提出する前日までじっくりと考え、後悔のない科目選択ができました。私の場合は2年次で社会科学系の進路への志望を固めましたが、3年次に進路を変更することも可能です。また、他大学への進学なども含めて、数多くの選択肢をじっくり検討しながら学校生活を送ることができます。将来の進路選択の可能性を狭めることなく3年生まで進めるのが、同志社高校のカリキュラムの魅力だと思います。

小阪 駿仁さんの場合

同志社大学
商学部 商学科 商学総合コース 進学
(2024年度卒業生)

- 2年 数学B、日本史探究
- 3年 数学C、論理・表現Ⅱ、現代社会研究、世界史探究、日本近現代史、現代のライフサイエンス



「やってみたい」を選べる環境

同志社高校では、文理の枠組みにとらわれることなく、自らの関心に応じて自由にカリキュラムを組み立てることができるため、将来に役立つ総合的な力の習得を目指せます。

私は高校入学時から、文系の学部に進みたいと考えていましたが、1年次での基礎的な学習を通じて数学に興味を持ったため、2年次にはもともと関心のあった社会分野に加えて、数学を選択しました。そして、3年次では、2年次の学習を通じて生物に興味を持ったため、数学や社会の分野に加えて「現代のライフサイエンス」を選択しました。結果的には当初の目標通りに文系の学部へ進むことになりましたが、文系の科目に加えて理系の科目を学んだ経験は、豊富な知識や新しい視点の獲得につながりました。

2年次 / 自由選択科目 11科目
▶▶▶ 希望する進路に応じて幅広い分野から学ぶ

3年次 / 自由選択科目 22科目 + 総合的な探究の時間 9講座
▶▶▶ 「特論」や「研究」を通して深く探究する

／ 自分の学びを深める「特論」「研究」 ／

地理探究



辻村 仁志さん

慶應義塾大学
商学部 進学
(2024年度卒業生)

「知る」楽しさ

地理探究は、地理総合がより深まった内容で、気候・農業・工業・交通・都市集落など多様なテーマに取り組みます。学ぶ内容は多いですが、どのテーマも私たちの暮らしと深く関わっているので、生活や将来に役立つ知識がどんどん増えていくという感覚で学ぶことができます。また、資料を読み解く機会が多いので、データ分析をする力も養うことができました。「知る」ほどに、何気ない景色が面白くなり、登下校や街歩きが楽しくなる科目です。

視野を広げて社会を見つめる

現代社会研究では、社会問題を深く掘り下げて調べ、自分なりに解決策を考えます。グループに分かれて発表に対するコメントを述べ合う機会が多く、物事を幅広い視野で見ることができるようになります。またこの科目では、関心のある社会問題からリサーチクエスチョンを設定して本格的な論文を書く、というかなり高度な課題にも取り組みます。その中で思考力、対話力ともに飛躍的に向上させることができました。現代社会研究において身につけた能力は、大学入学後だけでなく、社会に出てからも存分に活かすことができると感じています。

現代社会研究



倉本 昂征さん

同志社大学
生命医科学部 医情報学科 進学
(2024年度卒業生)

暮らしに寄り添った学び

家庭特論では、1年間を通して主に食と衣に関する知識を学びます。1・3学期の授業では、栄養学に関する専門的な範囲から世界の食文化まで幅広いテーマが扱われ、調理実習を通して実践能力を身に付けることができます。2学期は衣生活についての授業を受けたのち、ミシンを使ってパンツの製作を行います。家庭特論は、日常生活に一番密接に関係している内容を学ぶことができる科目です。毎日の暮らしを豊かにするような力を楽しみながら養えるところが魅力です。

家庭特論



岸 智菜さん

同志社大学
商学部 商学科
商学総合コース 進学
(2024年度卒業生)

英語研究



藤原 こころさん

同志社大学
グローバル・コミュニケーション学部
グローバル・コミュニケーション学科
英語コース 進学
(2024年度卒業生)

英語で思考を深める場

英語研究では、英語の4技能を活用し、生の英語を深く学びます。授業の中で小説や映画、詩などの多様な素材に触れ、それらについてレポートを書いたり、プレゼンテーションをしたりするなど、実践的な英語を使う場面が豊富にあります。言語である英語を学ぶには、たくさんの英語に触れ、実際に使うことが大切です。英語研究は、そのような学びの場を多く与えてくれる科目であり、英語力を効果的に向上させることができます。

音楽Ⅲ



林 直良さん

同志社大学
商学部 商学科
商学総合コース 進学
(2024年度卒業生)

「創作」を考え直す

音楽Ⅲはピアノや管楽器、弦楽器、または歌唱など様々な音楽分野に関心を持った受講者で構成されています。授業では、生徒が主体となって、グループで一つの作品を創作します。完成した作品を、全校生徒に向けて発表する機会も設けられています。授業では、自分が知らない音楽の分野に触れることができ、新たな発見をすることが多くありました。また、自分の提案したアイデアに他の受講生からの様々な意見が集まって作品が完成していく過程は、この上なく素晴らしい体験でした。

現代思想特論

自分の問いを 思想に変える

現代思想特論は、蓄音機でレコードを聴いたり、校舎の周りを散歩したりするところから始まります。講座のテーマは、芸術です。芸術は、高尚な趣味でも、たんなる現実逃避の手段でもなく、人間が人間であるとするための切実な何かと関わっているはず。その切実な何かは、生徒の内に必ずあります。現代思想特論では、その内なる問題意識に生徒自らが気づき、他者との対話を通して、それを学問の形に変容させます。たとえば、芸術哲学の講義、文献を輪読するためのレジュメ作り、学術的形式に則ったレポートの制作などです。これらを協働で行い、アカデミックスキルを習得し、一人ひとりが自律的に学問する知的共同体の醸成を目指します。



受講者の声

思索と創造を深める

現代思想特論では、1年間を通して1本のレポート執筆を行います。与えられるテーマは「芸術について」であり、ここから派生させて各々がより詳しい研究内容を設定します。文献からの引用箇所の整理、アウトライン(論理構成)の作成、執筆、先生による朱入れ、校正というプロセスを踏みアカデミック・ライティングの基本を学びました。

ほかには、現代思想の観点から芸術を考察する機会もあり、思想史と美術史のつながりを「理性」の捉え方の変遷を軸に探究しました。そのため3年必修科目の倫理と並行して履修することで、とても意義深い学びを得ることができました。講座の仲間と切磋琢磨してひとつの研究を完成させる経験は、大学での研究にも必ず生きてくると確信しています。



松山 二耶香さん
同志社大学
文学部 哲学科
(2024年度卒業生)

探究心が生み出す成長

現代思想特論では、芸術をテーマに、1年をかけてレポートを作成します。私は、考えることは好きですが、それを正確に文章化し、論述することが苦手でした。この科目では、そのような苦手意識を克服し、論理的思考力を養うことができます。なぜなら、単なる座学ではなく、自分の考えを深め、友人と共有する時間が設けられているからです。意見交換を通じて、多角的な視野から、普遍とされる概念を再考することができます。

私は、「HIPHOP文化が黒人差別という社会的背景から生まれたのにも関わらず、なぜ世俗化できたのか。」について研究しました。普段あまり読書をしない私が、9冊もの文献を読み考えられたのは、このテーマが真剣に「気になった」からです。「なぜか」という疑問から、対話を重ねる学びのプロセスにより、意欲的に学ぶことができます。



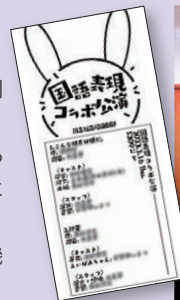
朝子 麻衣さん
同志社大学
社会学部 社会学科
(2024年度卒業生)

授業とクラブ活動のコラボ企画

2年生選択科目「国語表現法」にて受講生が創作した脚本を、演劇部が校内で上演しました。

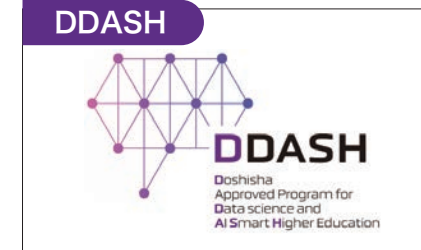
受講生には、シナリオが実際の舞台作品として公演される喜びがある一方で、演劇部にとっても普段の活動で培った表現力を多くの人に発表する場となるなど、お互いに多くのものを得られています。

授業での取り組みの成果を授業の外へも開いて共有する、良き機会となっています。



多様な学びで、社会とつながろう。

同志社大学との連携



現代の「読み書きそろばん」を学ぶ。

DDASHは、同志社大学が推進する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」です。高校3年生は、大学生全員に必要とされる基礎的知識・スキル(リテラシーレベル)の習得のため、フルオンデマンドで開講される「データサイエンス概論」を履修することができます。履修した科目は、大学入学後に修得単位として認定されます。



最先端の研究に触れ進路を考える。

同志社大学・同志社女子大学には20の学部と40以上の学科があります。その各学部学科に所属する先生方による説明会を通年にわたって実施しています。また、心理学部や理工学部、生命医科学部などで実施される見学会にも参加の機会があります。大学での最先端の研究に触れながら、自らの進路を考えることができます。



商学部の講義で簿記に取り組む。

商学部で学ぶ簿記の授業を高校3年秋から受講することができます。公認会計士試験への挑戦など、大学での発展を図るために企画された講座で、20年近い歴史があります。今出川キャンパスで直接大学教員から講義を受けて、「日商簿記検定試験3級」の合格を目指します。

活躍する社会人をゲストにパワーアップセミナー

パワーアップセミナーは同志社高校で30年以上続いてきた企画です。社会のさまざまな分野で活躍されている方々をお招きし、お仕事についてのお話や、進路選択へのアドバイスなどを伺います。「大学で何を学ぼうか迷っている」、「将来どんな仕事をしたいかわからない」、「海外で仕事をするためにどんな学部を選択したら良いのだろう」など、卒業後の進路に悩んでいる人には参考になるお話ばかりです。また、京都市内の史跡や博物館、地方裁判所などを訪れるフィールドワークも実施しています。自分自身の視野を広げるまたとない機会です。



検事・弁護士OB・OGによる資格のお話



法蔵館訪問

伝統ある国際交流 2つの短期留学プログラム

同志社建学の精神は、創立者・新島襄が欧米で過ごした10年間で育われました。本校では、開学以来、国際的視野に立った教育を重視しています。短期留学では、内容の異なる2種類のプログラムを用意しています。一つは、オーストラリア・メルボルン市にあるウェズリーカレッジとの交流で、30年以上続く伝統あるプログラムです。1年生を中心としたメンバーが参加しています。もう一つは、アメリカ・サンフランシスコにあるヌエバアップスクールとの交換留学プログラムです。現地では授業に参加してディスカッションやプレゼンテーションを行うなど、高い英語力が求められるプログラムです。



スチールドラム体験授業



スタンフォード大学訪問

Message

自分の成長が自信に変わる経験

ヌエバ高校への留学プログラムでは、何もかもが刺激的でかけがえのない貴重な10日間を過ごすことができました。現地では、生徒主体の授業や少数制のディスカッション中心の授業が多く、日本との学び方の違いに驚きました。「伝えたい!」という気持ちさえあれば、言語の壁も乗り越えられることを実感し、プログラムを終えた時には達成感と自分自身の成長を感じました。また、ホストファミリーや、このプログラムに参加した仲間と築いた絆は私にとって一生の宝物になりました。この経験を活かし、将来はさらに広い世界で活躍したいです。



瀧田 果歩さん
同志社女子大学
看護学部 看護学科 進学
(2024年度卒業生)

学生だからこそ得られた経験

私は、2年次にウェズリーカレッジへの留学プログラムに参加しました。留学期間中は、現地の学生と一緒に授業を受けたり、放課後にメルボルン近郊の海や市内のカフェに行ったりしました。また、ウェズリーの学生が来日した際には、一緒に授業を受けたり休日や放課後に一緒に観光するなど、楽しい時間を共有することができました。語学力に自信がない中でプログラムに応募しましたが、ほんとうに貴重な体験ができました。



相原 ちひろさん
同志社高等学校3年生

4

APRIL

- 入学式
- 始業式
- クラブ紹介
- 2・3年学カテスト

5

MAY

- 遠足
- 生徒大会
- 中間試験

6

JUNE

- 宗教週間
- 教育実習
- 進学説明会
- 球技大会
- 保護者懇談

7

JULY

- 期末試験
- 同志社大学・学部説明会
- 2・3年団体鑑賞
- 終業式
- 1年クラス合宿(1泊2日)
- 3年保護者個別面談

8

AUGUST

- クラブ合宿

9

SEPTEMBER

- 始業式
- 体育祭
- 岩倉祭

10

OCTOBER

- 中間試験
- 人権学習

11

NOVEMBER

- 進学説明会
- 保護者個別面談
- 宗教週間
- 創立記念日(29日)

12

DECEMBER

- 期末試験
- クリスマス礼拝(終業式)
- 岩倉キャンパスクリスマス
- クラブ合宿

1

JANUARY

- 始業式
- 新島永眠記念日(23日)
- 3年学年末試験

2

FEBRUARY

- 入学試験

3

MARCH

- 1・2年学年末試験
- 卒業式
- 終業式
- 学校スキー
- クラブ合宿

岩倉祭

岩倉祭は、同志社高校の仲間と熱くなる秋の一大イベント。1年生は中庭ステージ発表、2・3年生はクラス演劇などを行います。また、学芸部が活動を発表し、キャンパスを盛り上げます。



体育祭

全学年が、A組からH組まで、クラスごとに縦割の8分団(チーム)に分かれます。競技だけではなく、得点パネルのデザインや応援合戦も、すべて分団対抗で競い合います。応援合戦では、衣装・小道具などにも工夫を凝らした、華やかなダンスが披露されます。何度も練習を重ねたパフォーマンスが、観衆を魅了します。



岩倉祭ができるまで

“パートって?”

総務・財務・設備・音響照明・体育祭・演劇祭など、岩倉祭を支える9つのパートに所属するメンバーのことをいいます。6月にパート員が募集され、各パートのチーフを中心に、岩倉祭を裏から支えます。

6月 パート員募集

いよいよパート員の募集。今年も、岩倉祭がはじまる。

7月 パート会議&パートチーフ会議

岩倉祭までの期間、各パートがそれぞれの役割について検討を重ねます。パートチーフは、チーフ会議の場で互いの連携を確認しあいます。

8月 秋を目指して本格化!

演劇の脚本チェック、お金の管理、テントやステージの手配など、全てパートが取り仕切り、秋を目指します。

9月 ラストスパート!

チャペルに舞台が完成。各クラス・クラブの稽古も大詰めです。パート間の連携をはかりながら本番に向けての最終調整をします。

岩倉祭 ついに開催!

遠足

近隣の府県でクラスごとにバーベキューやレクリエーションを行います。新しいクラスの仲間との交流を深めながら過ごす一日です。



岩倉キャンパスクリスマス

地域の方々も招き、チャペルで行う行事です。ホザナ・コーラス部や管弦楽部、宗教部などを中心に、聖歌隊やハンドベルの演奏、お祈りなどの式を生徒によって執り行います。



球技大会

生徒会主催の行事で、学年ごとにクラス対抗でサッカーやバレーボールの試合を行います。比叡山を望む広いグラウンドが歓声に沸くイベントです。



学校スキー

高校体育科主催の行事で、4泊5日のスキー・スノーボード合宿です。1〜3年の希望者が自由に参加できます。インストラクターの指導のもと、仲間と一緒に楽しく技術を修得できます。



生徒自治会会長(総務パートチーフ)

他にはない経験を

高校2年次に、私は生徒会の一員として岩倉祭運営に関わり、皆で大きなものを作り上げるという経験に感動し、「その感動をもう一度味わい、共有したい」という思いから、3年次は生徒会長を務めることを決意しました。

岩倉祭に向けては、各行事を担当するパート員との連携や、関係者との連絡がうまくとれず苦労することもありました。しかし、同じ生徒会の仲間やパート員たち、そして担当の先生方に支えていただきながら、何とか無事に岩倉祭当日を迎えることができました。岩倉祭期間中は、想定外のトラブルに見舞われることもありましたが、その都度仲間と共に臨機応変に対応し、皆の思い出に残るような岩倉祭にすることができたと自負しています。

生徒会長として岩倉祭に関わったことは、私にとって非常に貴重な経験となりました。これから岩倉祭を迎える皆さんも是非、積極的に行事運営に関わり、他ではできないような経験をしてみてください。

佐竹 航之進さん

同志社大学
グローバル地域文化学部
グローバル地域文化学科
ヨーロッパコース 進学
(2024年度卒業生)



演劇祭パートチーフ

誰もが輝ける舞台

同志社高校の演劇祭は、誰もが輝ける舞台です。準備や本番での思い出は、かけがえのないものとなります。

岩倉祭の準備は6月から始まります。夏休みには、脚本を作成したり、大道具や衣装の構想を練ったりと、係ごとに準備を進めていきます。舞台に立つ演者はもちろん、クラス全員がそれぞれの役割を担うため、本番で劇を成功させることができた時には、大きな達成感を感じることができます。

また、演劇祭パートでは、演劇祭を成功させるという一つの目標の下、同じクラスの人だけではなく、学年全体の仲間と繋がりが合うことができます。一から演劇祭を作り上げていく過程では、計画通りに物事が進まなかったり、意見の違いを乗り越えなければならなかったりと、困難に直面することも多くあります。しかし、全員で協力して乗り越え、成功させることができた時には、他には代えがたい喜びを感じることができます。

同志社高校の岩倉祭は、自分自身を大きく成長させてくれるイベントです。

岡野 匠さん

同志社大学
法学部 法律学科 進学
(2024年度卒業生)



CLUB / のびのびと個性を発揮する、多彩な部活動

Sports

運動部

- アーチェリー
- 山岳
- 男子バレーボール
- 硬式野球
- ハンドボール
- ソフトテニス
- 女子バレーボール
- ラグビー
- 剣道
- 体操競技
- 男子バスケットボール
- サッカー
- ラクロス
- 卓球
- 女子バスケットボール
- スキー
- 陸上競技
- バドミントン
- 硬式テニス
- ダンス

Arts and Sciences

学芸部

- 美術
- ホザナ・コーラス
- 写真
- 文芸
- 地学
- 化学
- 将棋囲碁
- コミックアート
- 地歴
- 管弦楽
- 軽音楽
- クイズ
- 英語
- 茶道
- 宗教
- 演劇
- 生物
- 放送



ラクロス部

野瀬 奈穂さん
同志社大学
商学部 商学科
フレックス複合コース 進学
(2024年度卒業生)



好きなことに打ち込める場所

私は特に同志社高校の自主性を尊重する校風が素敵だと感じています。自分で考えて、行動することができる校風のおかげで、好きな事にとことん打ち込むことができます。私は約3年間、素晴らしい環境の中でラクロスに打ち込みました。広く整備されたグラウンド、指導して下さる部活動指導員の方々、応援して下さる先生方、のびのびと練習できる時間があり、そして一緒に頑張れるチームメイトがいます。毎日練習をしていると忘れそうになりますが、このような環境でラクロスができて本当に恵まれていたと感じています。私はラクロスに出会い、部活動に励むことができて本当に楽しかったです。同志社高校は自分のしたい事に挑戦することができる素晴らしい場所だと思います。



サッカー部

皇甫 灯輝さん
同志社大学
政策学部 政策学科 進学
(2024年度卒業生)



みんなと共に

私は部活動を通して、人間として大きく成長することができました。キャプテンとしてチームを引っ張り、満足のいく部活動をやり遂げることができましたが、それは私だけの力では到底成し得なかったものです。サッカー部では、生徒が練習メニューを組むなど、様々な活動を生徒主導で行います。こうして皆が主体性を持って取り組むことで、目標への意識が高まり、それに向かって努力し、自己の成長へとつながることができました。このように自主的に行動するというのは難しいことですが、それをやり遂げた先に人間としての成長が待っています。自分を高めたり、周りの仲間と協力して目標に向かって経験を通じて成長したい人は、ぜひ部活動に所属してみてください。



硬式テニス部

林田 結菜さん
同志社大学
グローバル地域文化学科
グローバル地域文化学科
アジア・太平洋コース 進学
(2024年度卒業生)



伝統と進化

私は、同志社高校で硬式テニス部に所属し、キャプテンとして部活の運営に励みました。運営する中で、OB/OGの方々の存在がとても支えになりました。練習メニューや、プレーへのアドバイスなど、部活を様々な場面でサポートしていただきました。同志社高校では、各部活でこのような縦のつながりが強く、伝統が受け継がれていることを肌で感じます。また、部活動を通して、部員全員で支え合い、互いに成長を遂げることも大切であると気付かされました。部員同士の目標が一人一人異なり、運営をする中で難しいこともありましたが、その都度、周りにいる部員に支えられ、目標に向かって進むことができました。同志社高校の部活動は、自由・自治・自立の伝統が受け継がれ、毎年進化しています。



男子バレーボール部

菊谷 樹さん
同志社大学
生命医科学部 医情報学科 進学
(2024年度卒業生)



創るバレーボール

同志社高校の部活は自分たちが主体となって創り上げる部活です。男子バレーボール部では代替わりした際にチームメイトと目標を定め、その目標に向かって日々練習に取り組みました。同志社高校は設備が非常に充実しており、体育館には冷暖房が設置されています。そのような恵まれた環境の下、顧問の先生も私たちの目標達成のために手厚いサポートをしてくださり、3年間バレーボールに本気で取り組むことができました。自分たちの手で部活動を創るという経験は、同志社高校だからこそできるものだと考えています。そこから得られるものは、試合の戦績以上のものでしたし、かけがえのない思い出になりました。



卓球部

沖塩 陽菜さん
同志社大学
理工学部
機能分子・生命化学科 進学
(2024年度卒業生)



出会いによる成長

同志社高校の魅力は、自由な校風の中で、生徒それぞれが自分の才能や個性を最大限に引き出せるような機会が多くあることです。様々な考えを持った人々が集まる同志社高校では、新たな価値観に出会うことができます。私がそれを特に体感できたのは、卓球部での活動でした。部長という役職に就いてからは、初めての経験ばかりで、生徒主体の部活動の運営に戸惑うことも多々ありました。しかし、その都度チームメイトとお互いの意見や価値観を伝え合い、乗り越えることができました。同志社高校は個性溢れる人々との出会いやコミュニケーションを通して新たな価値観に触れ、自分の視野を広げることができる場所です。



将棋囲碁部

大村 知子さん
同志社大学
商学部 商学科
商学総合コース 進学
(2024年度卒業生)



努力と友情が彩る青春

好きなことができること、素敵な仲間と出会えることが同志社高校の魅力です。私は将棋囲碁部に所属し、努力を続けてきました。1年次と3年次には、個人戦で全国大会、近畿大会に出場し入賞することができました。また、2年生の時には初心者だった友人2人を誘って全国大会、近畿大会に出場し、近畿大会では3位に入賞することができました。仲間とは大会までの練習や、勝ち負けを通じて味わった喜びや悔しさ、遠征での思い出を通じて、固い絆で結ばれました。私は管弦楽部にも所属していたため、大変なことも多くありましたが、好きなことに打ち込む3年間はあっという間に過ぎてゆきました。同志社高校は、素敵な仲間と囲まれ、理想の青春を過ごすことのできる場所だと思います。





A 想遠館 (そうえんかん)

生徒の創造力、そして想像力を養う創作芸術棟です。北側天窓から美しい光がさし込む美術室は、生徒の若い創作意欲を掻き立てます。また、調理室、被服室それぞれ独立した教室をもつ家庭科の授業では、専門性の高い実習を行っています。



B 万象館 (ばんしょうかん)

建物上部に設けられたドームでは天体観測を行うことができ、宇宙の神秘を感じられます。また、化学・生物・物理など理科の各分野の実験室や講義室が完備され、学びを深めるための多くの機会を提供します。



D テニスコート

オムニコート4面を備えており、体育の授業やクラブ活動に利用しています。



E 南グラウンド・東グラウンド

全天候型走路を含む広々としたグラウンドは、ラグビー、野球、サッカーが同時にできる広さです。



IWAKURA CAMPUS

C 知創館 (ちそうかん)

100台以上の生徒用PC、7万冊にものぼる蔵書や視聴覚資料に囲まれたメインフロアは、仲間とディスカッションしながら利用できる自由な空間です。また、大勢の前で発表する能力を養うプレゼンテーションステージは、授業やクラブ活動で盛んに利用されており、学び・創造・発表の楽しさを味わうことができます。



グラウンドはすべて人工芝

人工芝は、景観が美しくなる、土ぼこりが立たない、水はけがよくなるなど、様々なメリットがあります。同志社高校では、南グラウンドをはじめ、グラウンドとハンドボールコートに人工芝を敷き、快適性の向上を図っています。安定したコンディションで、体育の授業はもちろん、クラブの練習に利用しています。



ハンドボールコート



東グラウンド



H 桑志館 (そうしかん)

中庭を囲むようにHR教室が配置された、生徒たちの学びの中心となる校舎です。学校生活の多くの時間を過ごすHR教室には、陽光がそそぎ、のびのびと学ぶことができます。また、広々とした中庭は、休み時間や放課後に生徒たちの憩いのスペースになります。全体に明るく開放的な空間で、豊かな知性と人間性を育むのにふさわしい環境が整っています。



F 翼翔館 (よくしょうかん)

冷暖房設備を導入したメインアリーナのほか、2つのサブアリーナや多目的スペースを備えています。未来を生きる生徒たちの「快い大空へ舞いあがるような気持ち」を育み、自由人として羽ばたく活躍を願う思いが、建物の名称に込められています。その名の通り、最新の広々とした屋内空間で思う存分に活動することができます。



翼翔館



シアリーナ



Sアリーナ

G 宿志館 (しゅくしかん) グレイス・チャペル

グレイス・チャペルを中心に、魁ホール、カフェテリア、音楽教室、茶室などが設けられ、学園祭や岩倉キャンパスクリスマスなど、さまざまな学校行事に欠かせない建物です。チャペルでは毎朝、厳かな礼拝が行われ、生きる意味を学ぶ貴重な場になっています。また、ケヤキ並木を望むカフェテリアは食事や談話に利用でき、生徒たちに人気です。



推薦制度により、同志社大学・同志社女子大学に進学する生徒が約85%を占めます。その他の約15%の生徒は、同志社大学・同志社女子大学に設置されていない学部学科(医学・歯学・建築学・農学など)を中心に進学します。ほとんどの生徒が四年制大学へ進学します。

同志社大学への進学

同志社大学への過去3年間の推薦数		2024 年度卒		2023 年度卒		2022 年度卒	
		学科別	学部別	学科別	学部別	学科別	学部別
同志社大学	神学部	1		2		1	
	文学部	英文学科	3	1		1	
		哲学科	3	3		3	
		美学芸術学科	3	3	22	3	22
		文化史学科	3	5		6	
		国文学科	7	10		9	
	社会学部	社会学科	5	5		5	
		社会福祉学科	6	6		6	
		メディア学科	5	5	23	5	23
		産業関係学科	4	4		4	
		教育文化学科	3	3		3	
	法学部	法律学科	47	55		50	
		政治学科	13	12	67	12	62
	経済学部	45		45		45	
	商学部	43		43		43	
	政策学部	19		21		19	
	文化情報学部	10		10		10	
	理工学部	インテリジェント情報工学科	6	4		6	
		情報システムデザイン学科	5	6		5	
		電気工学科	4	4		1	
		電子工学科	5	2		2	
		機械システム工学科	5	2	31	8	40
		機械理工学科	3	1		1	
		機能分子・生命化学科	3	5		7	
		化学システム創成工学科	6	3		5	
		環境システム学科	3	2		3	
		数理システム学科	3	2		2	
	生命医科学部	医工学科	4	2		1	
		医情報学科	4	2	6	4	8
		医生命システム学科	2	2		3	
	スポーツ健康科学部	9		10		6	
	心理学部	14		11		10	
	グローバル・コミュニケーション学部	5		5		2	
	グローバル地域文化学部	9		10		10	
	同志社大学合計	310		306		301	

150年の歴史と伝統を礎に先進的な教育・研究を実践

同志社大学

【今出川キャンパス】
神学部／文学部／社会学部／法学部／経済学部／商学部／政策学部／グローバル地域文化学部

【京田辺キャンパス】
文化情報学部／理工学部／生命医科学部／スポーツ健康科学部／心理学部／グローバル・コミュニケーション学部

同志社大学は、日本の大学構想の先進的な役割を果たしてきた総合大学です。近年、「きめ細かな少人数教育」と「世界水準の教育・研究」をキーワードに、ソフト・ハードの両面で改革が進められています。2013年4月には、より体系的で一貫性のある教育を実現するため、文系学部の拠点を今出川校地に集約。施設・設備が新設され、キャンパス環境も整備されています。



女子大学の先駆けとして次世代をリードする女性を育成

同志社女子大学

【今出川キャンパス】
表象文化学部／生活科学部

【京田辺キャンパス】
学芸学部／現代社会学部／薬学部／看護学部

1876年(明治9年)、女子塾としてスタートした同志社女子大学は、リベラル・アーツ教育を目指すキリスト教主義女子教育の先駆けとなりました。現在では、専門分野を学びながら、他学科科目や他大学単位互換科目を履修できるなど、多彩で柔軟性のある学びのシステムを導入。豊かな教養を身につけるとともに、広い視野から物事の本質をとらえる力と、世界に通用する創造力を養います。



他大学への進学

国立大学

- 東京大学(1)
- 東京外国語大学(1)
- 福井大学(1)
- 滋賀医科大学(1)
- 京都工芸繊維大学(1)
- 島根大学(1)
- 徳島大学(1)
- 香川大学(1)
- 高知大学(1)
- 熊本大学(1)

公立大学

- 岐阜薬科大学(1)
- 京都市立芸術大学(1)
- 京都府立医科大学(1)
- 大阪公立大学(1)

私立大学

- 兵庫医科大学(4)
- 大阪医科大学(3)
- 大阪歯科大学(1)
- 立命館大学(3)
- 京都橘大学(1)
- 慶應義塾大学(8)
- 国際基督教大学(2)
- 京都薬科大学(3)
- 東京歯科大学(1)
- 北海道医療大学(1)
- 嵯峨美術大学(2)
- 近畿大学(5)
- 関西学院大学(2)
- 関西医科大学(1)
- 東邦大学(1)
- 東京理科大学(2)

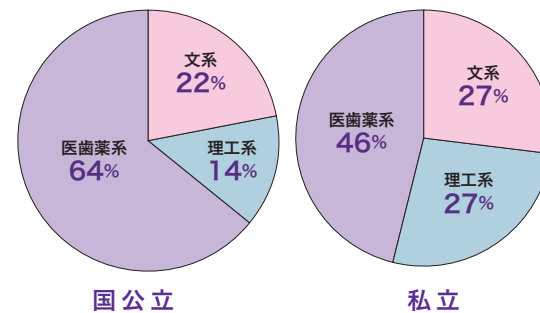
- 明治大学(3)
- 上智大学(2)
- 京都芸術大学(1)
- 金沢医科大学(1)
- 岩手医科大学(1)
- 福岡大学(1)
- 愛知医科大学(1)
- 北里大学(1)

海外

- University of California, Berkeley(1) 等

2025年度入試合格実績(人)

【2025年度入試合格学部内訳】



自分らしさを追求できる最高の環境

私が1年次に志していた進路は理系の学部でしたが、出来るだけ自分の将来の選択の幅を広げるために、すべての教科に関心を持って学びました。また、礼拝の時間には、先生や外来講師の方、時には同級生など年齢、性別、視点や価値観が異なる人のお話を聞くことができ、自分の中にある先入観に気づいたり、新しい考え方を知ることができました。併せて、「キリスト教学」や「倫理」の授業では答えのない問いを考えることが多く、批判的に物事を考える姿勢や客観的な視点を身につけることができたと思っています。

国際基督教大学への進学を志したのは、所属していた陸上部を引退したタイミングで担任の先生と面談したことがきっかけでした。出願まであまり猶豫がない状況でしたが、それまで取り組んできた課外活動や学校内外での経験を活かして合格することができました。同志社高校には、少しの興味と行動力があれば、大きく可能性が広がる最高の環境があります。私はここに通って、積極性や客観的な視点、人との繋がりの大切さを学び、人間的に大きく成長することができたと感じています。



金子 桜子さん
国際基督教大学 教養学部
アーツ・サイエンス学科 進学
(2024年度卒業生)

同志社女子大学への進学

同志社女子大学への過去3年間の推薦数		2024 年度卒		2023 年度卒		2022 年度卒	
		学科別	学部別	学科別	学部別	学科別	学部別
同志社女子大学	学表 部 文 化	英語英文学科	0	0		0	
		日本語日本文学科	0	0	0	0	0
	学芸 学部	音楽学科	0	1		0	
		メディア創造学科	0	0	1	0	0
		国際教養学科	0	0		0	
	学現 部 代 社 会	社会システム学科	0	0	0	0	0
		現代こども学科	0	0	0	0	0
	学生 部 活 科 学 部	人間生活学科	0	0		1	
		食物栄養科学科・食物科学専攻	0	0	0	1	2
		食物栄養科学科・管理栄養士専攻	1	0		0	
	薬学部	0		1		5	
	看護学部	3		3		3	
	同志社女子大学合計	4		5		10	

自由に学び、夢を叶える場所

私は小学校から同志社で学び、はじめは漠然と他大学への進学を考えていました。中学から大学受験を目指して塾にも通いましたが、高校2年生までは学校での学びや行事などの課外活動に全力を注ぎ、学校生活を楽しみました。高校での授業はとても面白く、各分野への知識と理解を深め、視野を広げてくれるものでした。

高校3年生からは志望校合格へ向けて本格的に受験勉強に取り組み始めました。それでも習い事のバレエは11月まで続け、発表会にも出演しました。こうし

た課外活動での経験は、受験の際の二次試験面接でとても役立ち、自信を持って自分を表現することができました。好きなことを続けながら勉強に集中できたのは、同志社高校の自由で、やりたいことを実現しやすい環境があったからだと思います。そして、何よりも多くの先生方や友人からの応援が大きな励みとなり、試験本番で緊張しすぎることなく、自分の実力を発揮することができました。同志社での学びと経験があったからこそ、志望していた大学に合格できたのだと思います。



岸本 妃菜さん
京都府立医科大学 医学部
医学科 進学
(2024年度卒業生)

自分のアンテナを信じ、 「新しいこと」を追いつける自分の原点

同志社高校の3年間は、「新しいこと」を探す日々でした。部活は他にやりたいことができたので半年で離れ、岩倉祭の演劇も2年目から参加せず、代わりに会場照明の設営などをやっていました。当時はちょうど知創館ができたばかりの時期で、昼休みには真新しい建物に足繁く通い、さりとて勉学に打ち込むでもなく、友達と談笑する場になっていました。部活も行事も勉強も中途半端で、品行方正とは言い難い生徒でしたが、特に咎められることもなく過ごしていたのは、同志社が自由な校風だからでしょう。

そんな私が進学先に選んだのは、同志社大学に新設されたばかりの文化情報学部でした。そこで学んだデータサイエンスは、今でこそAIや機械学習の基礎として広く知られていますが、当時はまだ耳慣れない分野でした。学部の第一期生として飛び込んだこのときの選択が、現在のデータエンジニアとしてのキャリアの礎となります。

その後も目新しさに惹かれるまま、学部到新設された統計科学研究室の第一期生になったり、新卒入社した企業では新規事業の立ち上げに関わったり、株式上場前のメルカリ社に転職したりを経て、現在は2021年に発足したデジタル庁に民間専門人材として籍を置いています。デジタル庁では、これまでのキャリアで身につけたスキルと経験を活かし、中央政府におけるデータ活用の推進に貢献しています。

振り返ってみれば、これまで自分の中にある「新しさ」を感じるアンテナを信じて歩んできました。心のアンテナが何に反応するのかを知ることは、自らの進む道を見つけることにつながります。自らの由(よし)を知る。これが自由を学ぶということです。これから高校生になる皆様は、同志社での勉学、部活動、学校行事を通して何者かになっても良いですし、少なくとも良いでしょう。学校の外にも世界は続いているからです。ぜひ同志社が育む「自由・自立」の精神のもと、自分自身の方向性を見つけ、可能性を広げる高校生活を送ってください。



データエンジニア 長谷川 亮さん

デジタル庁
2004年度卒業生
[同志社大学院 文化情報学研究所 修了]

自由だけど生徒一人ひとりに本気、 情熱と創造力を育てる場所

私が同志社高校への入学を決めた理由は、「校舎が綺麗だった」からです。学校選びの基準としては単純ですが、今思えば、この美しい校舎で過ごした日々が、私の建築への興味を育んでいたのかもしれません。現在、私はカナダで建築デザイナーとして働いています。あの頃、知らず知らずのうちに、空間の美しさや建築デザインの持つ力に魅了されていたのでしょう。

私が同志社高校に通っていた頃、夏休みの宿題はほとんどありませんでした。それは自分と向き合うことができる特別な時間でした。ある夏、私は1ヶ月間カナダへ渡航しました。この経験が、私の人生を大きく変えました。異国の文化や建築に触れ、「ここで学びたい」と強く思い、カナダの大学への進学を決意したのです。

高校3年間、冷めることのない情熱を日々の勉強に注いだ結果、カナダの名門大学へ特待奨学生として入学しました。入学から卒業まで勉学に打ち込み、首席卒業という栄誉と、多くの賞を頂くことができました。在学中、世界的に有名な建築事務所でインターンシップを経験できたことも良い思い出です。

海外の大学受験には、高校の成績が大きく影響します。入学後最初の定期試験から、高得点を目指して必死に勉強しました。しかし、結果は平均点以下。落ち込んでいた私に、先生はこう言いました。

「君は、勉強しすぎだよ。休むことを学べ。」

私は、この教えを今でも大切にしています。仕事に追われストレスが溜まると、創造力が鈍ってしまいます。そんな時、この言葉を思い出し、一度仕事から離れてリフレッシュすることで、より良いデザインが生まれるのです。一般的な学校なら、「もっと勉強しろ」と指導されることでしょう。しかし、同志社高校は違います。一人ひとりの個性を尊重し、それぞれに合ったアドバイスをいただける学校です。生徒一人ひとりの人生を本気で考えてくれている先生方がいらっしやいます。

もしこれから同志社高校を目指すのなら、ぜひこの自由な環境の中で、自分の夢を見つけ、育ててください。ここには、あなたの可能性を広げるパワースポットがあります。



建築デザイナー 亀廣 はなさん

Williamson Williamson Inc
2018年度卒業生
[トロント大学建築学部建築学科 卒業]



公認会計士 藤田 雅史さん

株式会社わかは経営会計
2016年度卒業生
[同志社大学 商学部 商学科 フレックス複合コース 卒業]

同志社で教えられた 自ら考えて将来を歩むことの大切さ

私は同志社大学在学中に公認会計士試験に合格後、大手監査法人で主に上場企業の法定監査を担当していました。その後、現職では事業再生・M&A(企業の買収・合併等)・その他様々な分野において、特に中小企業を中心としたお客様向けの支援を行っています。公認会計士の専門知識・経験を活用し、お客様が抱える課題を解決することが私が仕事をするうえでの大きなモチベーションです。自分で考え抜いた経営分析報告や改善提案を行った時に、お客様から「ありがとう」と感謝の言葉をいただける瞬間に最もやりがいを感じます。お客様との信頼関係を築きながら、期待に応えていくことが大切だと考えています。

同志社高校在学中は、陸上競技部で中長距離部門のリーダーでした。生徒が自主的に考える文化が根付き、練習メニューや駅伝メンバー選考など、部員主導で取り組んでいました。勉強面では、大学受験が無いという特徴を生かし、自分が興味のある分野の科目を自由に選択し、学びました。高校3年生の冬に同志社大学との連携で日商簿記講座があり、これをきっかけに公認会計士の世界を目指せたことは良い出会いでした。今思えば、自由・自治・自立の校風を背景に、自分の頭で考える習慣がこの頃から身につけていきました。

同志社大学商学部に進学し、学部の授業と公認会計士の試験勉強との両立を目指しました。限られた時間の使い方を工夫し、自分なりの勉強法を確立しました。商学部首席卒業と大学3年生での公認会計士試験合格という2つの目標を達成出来たのは、同志社高校で身に付けた自主性が大きく、同志社で過ごした日々感謝しています。

今後、企業の伴走者として社会に貢献し続ける公認会計士でありたいと思います。地域経済の発展は勿論ですが、中小企業の海外展開のご支援等、国境を越えた活躍も将来は視野に入れています。自分で考えて将来を歩んで行くことの大切さを胸に、一人の専門家として成長していきます。



お笑い芸人 竹田 百花さん

マセキ芸能社所属 めもんと
2016年度卒業生
[日本大学 芸術学部演劇学科演技コース 修了]

本当にやりたいことは何か、 自由な校風が導いた表現者としての道

私は同志社高校を卒業後、日本大学芸術学部演劇学科に進学し、現在はお笑い芸人として活動しています。今の進路に進むことを決めたのは高校3年生の春で、まさかこのような道を歩むとは中学生の頃には想像もしていませんでした。今この人生を選んだきっかけを改めて振り返ると、自由な校風の中で、自分が本当にやりたいことは何かと自然に向き合う時間を与えてくれた高校生活が大きかったと感じています。

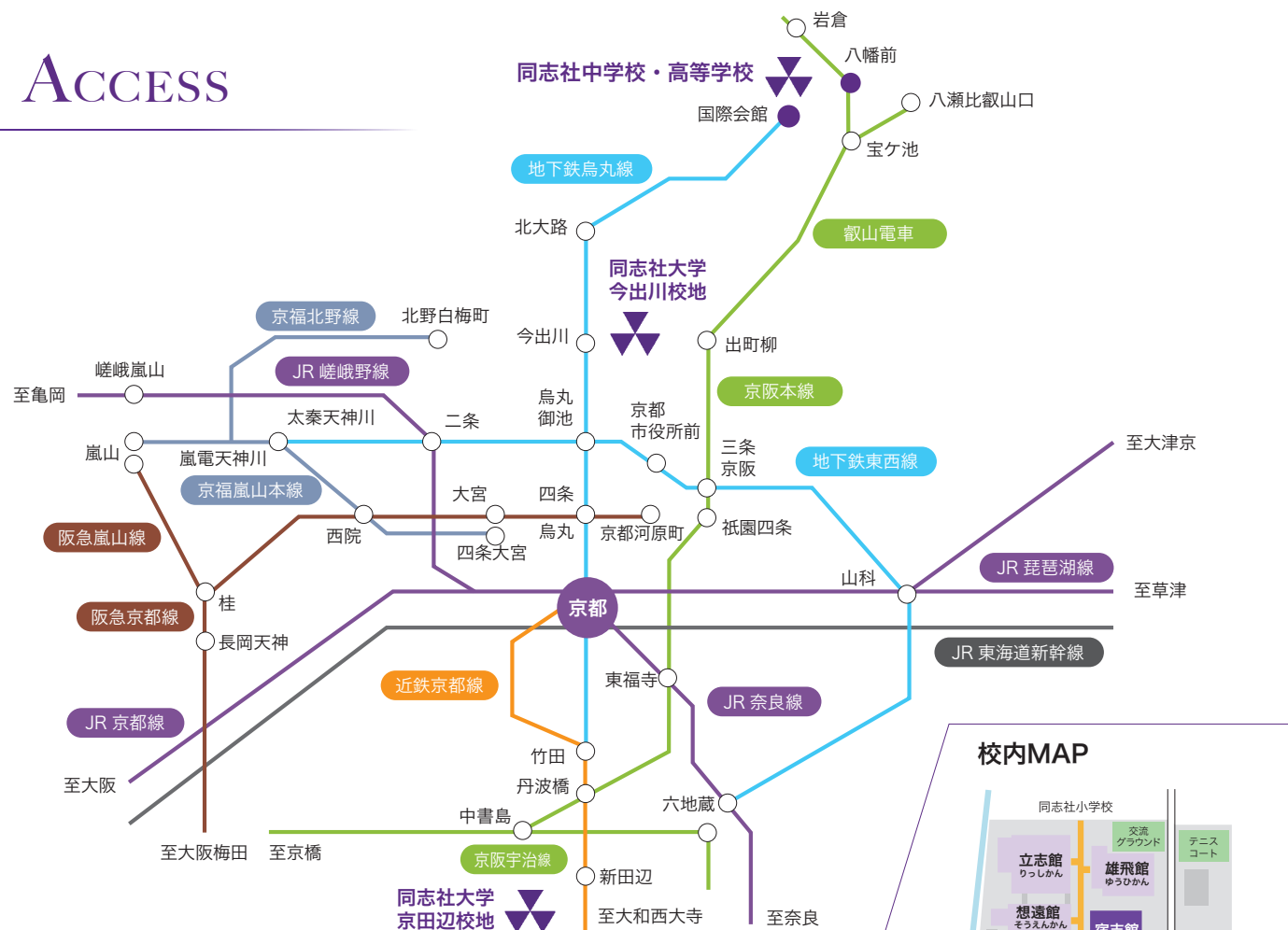
同志社高校は校舎全体が開放的で、教室はもちろん、部室、生徒会室、活気ある中庭、そして静かで広い図書室など、その時々で自分がいたい場所を選べるのが魅力でした。また、制服ではなく私服だったことも、毎日自分が着たい服を選び、自然と自己表現をする習慣が身につくきっかけになりました。そうした日々の小さな選択を通して、自分がどんなものが好きなのか、何に惹かれるのかが次第に明確になっていきました。さらに、先生方や共に学ぶ友人たちが、お互いの個性や選択を尊重し合う関係を築いてくれたからこそ、私はのびのびと自分の興味関心を探求し、進むべき道を見つけることができたのだと感じています。

ある放課後、教室で友人が英語のスピーチコンテストに向けて熱心に準備をしている姿を見て、「すごいな、私にはできない。」とただぼんやりと感心していた時期がありました。しかしその時、「私にできることは何だろう。得意なこと、本当にやりたいことは何だろう。」と改めて考えるようになりました。

そんな中、文化祭の岩倉祭で、クラス発表の作品作りに積極的に関わりました。昔から舞台を観ることが好きだった私は、台本を書いたり、構成を考えたりする過程に夢中になりました。作品が完成し、観客の皆さんが笑ったり、感動してくださる瞬間を見た時、大きな喜びを感じ、これが自分の好きなことだと強く実感しました。この経験を通して、お笑いや演じることを追求したいという目標が明確になりました。

これから同志社高校で過ごされる皆さんにも、自由な環境の中で切磋琢磨できる仲間と出会い、自分の直感を信じて、あまり気負わず、楽しい高校生活を送っていただきたいと心から願っています。

ACCESS

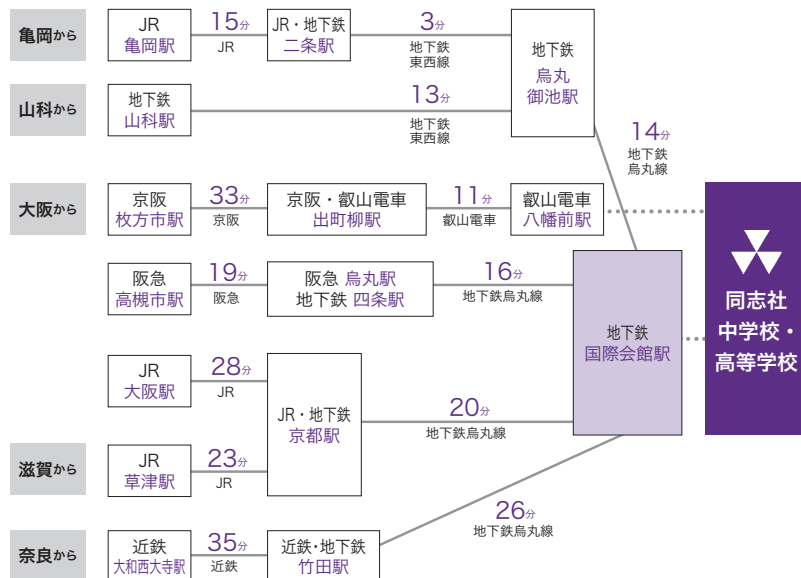


地下鉄丸太線「国際会館」駅2番出口すぐ
叡山電車 鞍馬行・市原行「八幡前」駅下車徒歩7分



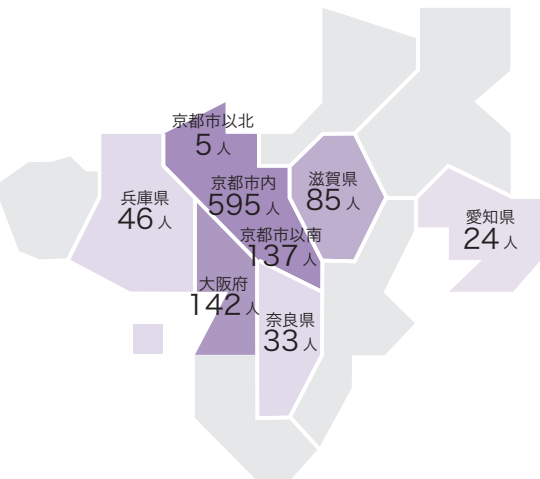
地下鉄丸太線「国際会館」駅

各地からのアクセス



生徒数・在住分布

在籍数 1067人(5/1現在)



	1年	2年	3年	総計
女	170	172	167	509
男	186	186	186	558
計	356	358	353	1067

入試案内

2026年度 高等学校入学試験 概要

- 募集人員** 男女あわせて80名(推薦30名、一般50名)
※推薦入試を受験希望の場合は在籍中学校の先生に相談してください。
- 出願資格** 中学校卒業またはこれと同等以上の資格のある者
ただし、2026年3月卒業見込みの者
または2025年3月卒業の者
(推薦入試は2026年3月卒業見込みの者に限る)
- 試験日** 2月10日(火)
- 試験科目** 国語・数学・英語・社会・理科(各教科50分)
- 合格発表** 2月13日(金) 16:00 Web発表・郵送
- 出願準備<Web登録出願>**
出願サイトより案内に沿って出願準備をしてください。
●出願情報登録
12月1日(月)9:00~1月23日(金)17:00
●入学検定料支払
1月8日(木)9:00~1月23日(金)17:00
- 出願期間** 1月16日(金)~1月23日(金)消印有効
- 出願方法** 以下の書類を「レターバックライト(青)」にて郵送
①入学願書(出願サイトより出力)
②報告書(中学で作成・厳封のもの)
③[推薦入試のみ]学校長の推薦書(所定様式)
- 入学検定料** 20,000円(Web決済)
- 入学手続** 入学金および第1期学費等納入(銀行振込)
- 納入期限** 推薦入試合格者 2月27日(金)
一般入試合格者 3月19日(木)予定
- 学費(参考 2025年度入学生実績額)**
○入学金/130,000円
○授業料/736,000円、教育充実費/140,000円
(うち、第1期学費等納入額 388,800円)
○タブレット端末代/106,700円(本体・設定費含む)
*変更になる場合があります。

教育相談について

月に4回、スクールカウンセラーが来校し教育相談に応じています。

留学について

高等学校入学後からの留学で、中学校3年生時点での申請が必要な場合は、申請前に本校までお問合せ願います。

入試データ

■ 過去3年間の一般入試応募者数・合格者数

	募集数	応募者	合格者	倍率	最高点	最低点
2025年度	50	234	107	2.19	376	283
2024年度	50	277	138	2.01	399	286
2023年度	50	259	145	1.79	384	292

■ 2025年度一般入試結果(合格者)

	国語	数学	英語	社会	理科	合計
最高点	68	94	97	88	87	376
最低点	23	34	41	32	45	283
平均点	48.4	63.5	73.0	63.9	67.3	316.1

■ 2025年度一般入試都道府県別応募者数と合格者数

	京都市内	京都府下	滋賀県	大阪府	兵庫県	奈良県	その他
応募者	110	41	60	4	6	6	7
合格者	57	15	29	1	3	0	2

奨学金制度について

- 四方秀和奨学金
経済的理由のため就学が困難な一年生1名に対し、授業料の1/2相当額を3年間給付します。
- 同志社中学校・高等学校特別奨学金
不慮の経済的理由のため就学を続行できなくなった生徒に対して学費の限度内で給付します。
- 同志社中学校・高等学校学費貸与金
その年の授業料の3/4~1/2(就学支援金および同志社高等学校独自の奨学金を控除した額)
家計を考慮して貸与します。

受験生・保護者対象

2026年度 入試説明会

10/11(土) ①10:00 ②13:30 ※要事前申し込み

会場:同志社中学校・高等学校
グレイス・チャペル

■ お申し込み方法: 右記の二次元コードまたはWebサイトからお申し込みください。



<https://js.doshisha.ac.jp>

学校見学受付中

学校見学について

お申し込みは随時お電話にて受け付けています。
中学校・塾・教室単位での学校見学も可能です。お気軽にご連絡ください。

Tel 075-781-7121

(平日9時から17時の間にご連絡ください)

